

## 第9分科会②

協議 題 家庭・地域等と連携し、充実した教育活動を展開できる学校づくりの推進

研究テーマ ふるさとを愛し、主体的に未来を切り拓く子どもの育成を目指す計画的・組織的な小中一貫教育の推進

提案者 大分県豊後大野市立朝地小中学校 校長 弓削 直幸

### 1 はじめに

大分県豊後大野市では、学校教育基本方針として「地域とともにあるヘプタゴン教育（ヘプタゴン教育：豊後大野っ子の夢を叶える教育）」を掲げている。また基本目標としては、「『主体的な自己実現』をめざして」を設定し、ヘプタゴン教育の7つの柱（①キャリア教育の推進、②連結型小中一貫教育、校種間連携の推進、③コミュニティ・スクールの充実、④確かな学力の育成、⑤豊かな心の醸成と健康な体の育成、⑥郷土学の推進、⑦学校環境の充実）を中心とした重点方針を挙げている。本市では特に最近12年間で、児童生徒数が20%減少している。少子化の引き起こす影響は、全県・全国的な課題である。この課題に対して、学校の統合ではなく、連結型小中一貫教育を進め、小中一貫教育校の設置を推進することを通して、家庭・地域との協働にも力を入れ、豊後大野市の特性を生かした「地域とともにある学校づくり」を目指している。



豊後大野市マスコット  
キャラクター『ヘプタゴン』



千歳小学校は、田畑・山林に囲まれた自然豊かな地域にある。地域の方や駐在さんに毎朝登校してくる児童生徒の見守りや声かけをしていただいていることなど、「地域とともにある学校づくり」に必要な、地域や保護者の学校教育活動への協力体制が整っている。児童数92名（8学級。うち特別支援学級2学級）の子どもたちは、休み時間になるとみんな元気にグラウンドを駆け回り、楽しく遊ぶ姿が印象的である。

### 2 主題設定の理由

豊後大野市校長会ではこれまで、小中一貫教育の推進に向けた学校経営上の課題の共有などを進めてきた。今年度も4月の豊後大野市校長会の活動方針として、保護者や地域住民の期待に応えるため、「地域とともにある学校づくり」を通して、教育諸課題の解決に努め、積極的に学校改善や安全・安心な学校づくりを諮っていく必要性を共有した。また、研究テーマ「ふるさとを愛し、主体的に未来を切り拓く子どもの育成を目指す計画的・組織的な小中一貫教育の推進」の設定をし、具体的な研究内容として、小中一貫教育校にむけた教育課程の編成と評価、学校課題の整理・共有などを挙げ、家庭・地域とともに、子どもたちの自立を目指すキャリア教育を軸に、ふるさとを愛する子どもの育成が必要であることを意思統一している。

### 3 研究の視点

- (1) 小中一貫教育の推進について、豊後大野市内小中学校及び千歳町の方向性と共有
- (2) 小中連携の推進、地域との協働、保護者との連携

### 4 研究の実際

- (1) 小中一貫教育の推進について、豊後大野市内小中学校及び千歳町の方向性と共有

#### ① 市内小中学校での意思統一

小中一貫教育の推進について、豊後大野市では、平成21年に学校教育審議会で「小学校・中学校の連携を図りながら各町に学校を1校は残すこと

が望ましい」と答申が出された。令和2年の同審議会が策定した基本方針では、「市内の全小中学校が、小中一貫教育校に移行することが望ましい」とされた。それを受けて、校舎の老朽化が進み、建て替えの時期と重なったこともあり、千歳町では「施設一体型」の小中一貫教育校の校舎建築が計画されている。令和6年4月に校舎新築と千歳小中学校の開校を目指し、地域・保護者と開校準備を計画的・組織的に行う必要がある。

② 千歳町の流れ

千歳小学校、千歳中学校では、これまでの小中連携の取組を進めていく中で、ふるさとである千歳の地を愛する子どもたちの育成や、地域・保護者との協働を学校経営の重点に据え、「地域ととも



千歳町小中連携マスコット  
キャラクター『ひょうたん様』

にもある学校づくり」をおし進めてきた。具体的には、幼小中合同しらしんけん体育大会の実施、野菜・米・花づくりや職場体験学習などの体験活動への協力、学習ボランティアの参加、乗り入れ授業等々、地域人材活用や小中交流の活動を教育課程に位置付けている。さらに、地域の一人暮らしの高齢者へ配達するお弁当の材料に、学校菜園でとれた野菜を差し上げたり、卒・入学式で式場を彩る花を種から育て、その花の苗を地域の高齢者にお渡ししたりして、地域の方とのつながりを大切にしている。年間を通して、子どもたちから地域の方へ感謝の気持ちを表す活動を行っている。

そんな中、令和2年、「主体的な自己実現」を目指すへプタゴン教育の具現化の手段の一つとして、小中一貫教育校設置にむけた基本方針が策定された。千歳町の場合、校舎については、小学校は昭和52年築、中学校は昭和49年築と老朽化が進んでいる。そこで、学校運営協議会『千歳っ子を育てる会』が中心となって発足した「校舎建築期成会」は、校舎新築という保護者・地域の長年の要望を市議会に提言した。令和2年12月議会において、新校舎の建築が承認されるに至った背景に、千歳町におけるこれまでの地域に根ざした教育の展開が浸透し、そして、学校への献身的な地域のサポートがあると考えられる。

(2) 小中連携の推進、地域との協働、保護者との連携

① 小中連携の推進

ア 先の見通しの可視化

千歳町では、小中一貫教育校設置にあわせて、

施設一体型の校舎新築が打ち出されたことにより、具体的な準備にとりかかっている。準備するにあたり教職員から、いつまでに、どんなことをするのがイメージしにくいという意見が出された。そこで、先の見通しを持つために、今後の日程【令和2～5年度】を作成し、小中合同会議や学校運営協議会、保護者会など、ことあるごとに説明、利用している。見通しの可視化は有効であり、今後も具体的な作業日程、取組内容の目安を職員に提示していく。

○ 現在準備中のもの

項目	担当	R2年度			R3年度			R4年度			R5年度	R6年度
		1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期	校舎完成	校舎完成
市教委 基本計画・方針	協議	基本計画	基本計画	基本計画	基本計画	基本計画	基本計画	基本計画	基本計画	基本計画	基本計画	基本計画
地域 総務課・児童クラブ	協議	基本計画	基本計画	基本計画	基本計画	基本計画	基本計画	基本計画	基本計画	基本計画	基本計画	基本計画
コミュニティ・スクール	保護者	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会
学校	中教頭	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会	千歳っ子を育てる会
学校教育 校長 校長 校長	校長	校長	校長	校長	校長	校長	校長	校長	校長	校長	校長	校長
学校評価の4位セット	教務	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成
教育課程	学務	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成
学校運営	教務	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成
校務分掌	中教頭	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成	統一して作成
独自教科	教務	中中で検討	中中で検討	中中で検討	中中で検討	中中で検討	中中で検討	中中で検討	中中で検討	中中で検討	中中で検討	中中で検討
教科課程 教科課程	教科課程	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
学校行事等	生活体育	合同会議で作成	合同会議で作成	合同会議で作成	合同会議で作成	合同会議で作成	合同会議で作成	合同会議で作成	合同会議で作成	合同会議で作成	合同会議で作成	合同会議で作成
児童会・生徒会	児童会・生徒会	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成
教育・職員 教育の設計	教務	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成
放送設備等	放送	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成
学校名	小校長	投票	投票	投票	投票	投票	投票	投票	投票	投票	投票	投票
生活時間表	教務	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成
制度・保護	市教委	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成
校歌	教務	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成
校章・校旗	中校長	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成	作成

イ 教育目標の統一

小中一貫教育校設置に向けてまず始めに取り組んだのが、教育目標の統一である。小中一貫教育の意義として、義務教育9年間を見通し、系統的・継続的な学びを実現することができ、個々のニーズに応えた指導を展開することで、主体的な自己実現を図ることができる。その意義を確認しながら、小学校と中学校で統一した教育目標を設定した。具体的には、令和2年度初めに小中学校の教職員の合同の会議で意見を交わして原案を作成した。この活動を通して、教職員間で目指す姿の意思疎通ができた。学校運営協議会の中でも熟議してもらい、小学校、中学校、学校運営協議会統一の教育目標を設定した。その教育目標及びアクションプランを令和3年度当初から意識的に活用して、検証・改善を繰り返している。

ウ 小中合同会議の組織的な取組

小学校、中学校の教職員が、小中一貫教育校の設置・移行準備に取り組んでいくための組織として、小中一貫教育校推進委員会と小中合同会議を設けた。小中一貫教育校推進委員会は毎月1回、両校の校長・教頭・教務主任が参加する、小中一貫教育校へ移行するための事務局として位置づけている。また、年間7回開催の小中合同会議では、小中全ての職員が一堂に会する場、および2つの部会で審議する場がある。教育課程を編成する学習指導部会、小中合同の行事を作成する生活指導部会と、両部会の提案を全体会で決定する形となっている。一昨年度からこの体制で実施し、2年目の昨年度は、取組内容や方法が浸透してきた。各担当が主体的に、中心となって課題解決へ進もうとする姿が随所に見られるようになった。今年度はさらに回数を増やし、内容も具体的に計画をしている。



② 地域との協働（『千歳っ子を育てる会』の協力）

前述したように、学校運営協議会『千歳っ子を育てる会』が中心となって「校舎建築期成会」が発足された。まず始めに地元議員に協力を仰ぎ、学校運営協議会のメンバーにも主体的に、期成会の会長、事務局などを務めてもらうことができた。校舎新築への地域からの声を伝えていく流れや方法も期成会で進めてもらった。

その思いに応えるべく、豊後大野市教育委員会が期成会及び学校代表に向けた「校舎建築基本コンセプト」の説明会を開催した。それを受けて、『千歳っ子を育てる会』や学校関係者に向けても、基本計画・設計の説明及び意見交換の場「校舎建設基本設計構築にむけたワークショップ」が設けられた。確定前段階あるいは進捗状況を知らせてもらえた、丁寧な対応をしてもらえているということは、「地域とともにある学校づくり」につながるものであると確信している。



現在、小中一貫教育校に向けた取組の様子を積極的に発信することが重要であると考えている。校舎建築の進捗状況や学校名の投票結果などを『千歳っ子を育てる会』で説明したり、『小中一貫教育校だより』（小中一貫教育校推進委員会発行）を各家庭に配布したりすることで、地域の学校への関心をさらに高めていこうとしている。千歳町特有の地域協働、特に学校運営協議会『千歳っ子を育てる会』との連携は、子どもの学びの肝であると感じている。

小中一貫教育校だより

第6号 令和4年3月1日（火）  
豊後大野市立千歳小学校・千歳中学校  
小中一貫教育校推進委員会

**「校名選考アンケート」の集計をしました！**

昨年末の12月中旬にご郵送の新しい小中一貫教育校の「校名」の選考アンケートを、千歳町に住んでいる方（保護者・保護者（寄）・地域住民）を対象に実施していただきました。ご協力ありがとうございました。今後は千歳町の小中一貫教育校開校に向けて、ご報告させていただきます。

千歳町の小中一貫教育校の『校名』

No.	校名	児童数				合計
		小	中	小	中	
①	千歳小中学校	38	18	19	21	109
<input type="checkbox"/> シンプルで良い①② <input type="checkbox"/> 大人になって貰うと良い① <input type="checkbox"/> 良いやない① <input type="checkbox"/> 千歳や・千歳中がほしい①④ <input type="checkbox"/> しっくりくる、みさわしい①②③ <input type="checkbox"/> わかりやすい、覚えやすい①②③ <input type="checkbox"/> 小中学校をなくさないがよい①④ <input type="checkbox"/> 他の名前が良い①④ <input type="checkbox"/> これまでが好ま、引き継げる①②						
②	千歳学園	27	8	5	9	53
<input type="checkbox"/> シンプルで良い①② <input type="checkbox"/> おっこいい①② <input type="checkbox"/> 先生の数が少ない、覚えやすい①② <input type="checkbox"/> こういう名前の学校が良い①② <input type="checkbox"/> 覚えやすい、しっくりくる①② <input type="checkbox"/> 他にない① <input type="checkbox"/> 他の一歩にみさわしい、背伸びをしない①② <input type="checkbox"/> 好きな名前、響きが良い、明るく元気なイメージ①②						
③	ひょうたん学園	5	4	2	2	13
<input type="checkbox"/> 明る、アールで明るも①② <input type="checkbox"/> 千歳らしい①② <input type="checkbox"/> 明る、おもしろい①② <input type="checkbox"/> 覚えやすい						
④	千歳白鹿学園	9	10	1	2	22
<input type="checkbox"/> 自然山が好きな①② <input type="checkbox"/> 千歳らしい、千歳の良さ①④ <input type="checkbox"/> 響きが良い①②						
⑤	ちとせざくら学園	5	0	1	0	9
<input type="checkbox"/> おもしろい <input type="checkbox"/> いい名前①② <input type="checkbox"/> 新しい学校が生まれる						
合計		84	40	29	34	220

※掲載はアンケート無回答のもの

③ 保護者との連携（幼小中合同保護者会の発足）

小中一貫教育校への移行、校舎建築が打ち出されると同時に、一気に進んだのが、合同保護者会の結成、保護者会組織再編である。すでに幼小は合同保護者会であったが、保護者会の一体化の有用性や役員の役割分担、活動の見直し（負担軽減等）を、役員会へ投げかけたところ、役員の方に

前向きに取り組んでいただくことができ、一挙に進んだ。今年度が合同保護者会の初年度で、新たな形で活動計画などを審議・作成してもらい、まだまだ疑問や課題があり、すでに引き継ぎ事項が生まれているが、改善の方向で受け入れてくれていて保護者が多く、スムーズに移行することができ、スタートしている。

また、小中一貫教育校への準備段階である今、保護者に進捗状況を発信するとともに、保護者の意見を吸い上げるために相談をしている。教育活動の最終決断は校長であるが、保護者の意見も重要であると考え、保護者と積極的に相談していくことの必要性を打ち出している。幼小中合同保護者会に関わってはもちろん、学校名案づくり、現在は制服・体操服、校章について保護者・地域と相談している。



## 5 成果と課題

### (1) 成果

#### ① 小中一貫教育の推進

小中一貫教育の推進が校内の教職員に周知、浸透してきている。その内容が共通理解されてきて、取組が計画的、組織的、具体的なものになってきている。

#### ② 家庭・地域との連携

小中一貫教育を推進することで、家庭・地域との連携が深まっている。「地域とともにある学校づくり」につながっている。

#### ③ ふるさとを愛する子どもの育成

子どもたちにも地域とつながる取組が定着しつつあり、ふるさとを愛する子どもの育成につながっている。

### (2) 課題

#### ① 家庭・地域への発信

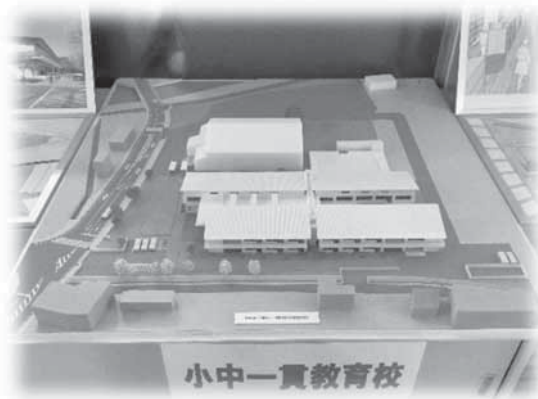
様々な取組の家庭・地域への発信を常に行う必要がある。家庭・地域と連携するためにはより細かく、丁寧に保護者や地域住民に知らせていかなければならない。そうすることで、家庭・地域も自分たちのものとしてとらえることができる。

#### ② 教職員の主体的な取組

小中一貫教育校開校までにしなければならないことを明確にすること、計画を立てること、役割分担等々、積み残されていることが数多くあり、話し合いをする、作業をする時間的なものも必要である。それらを教職員全体で主体的に取り組む雰囲気づくりにリーダーシップを発揮しなければならない。

## 6 おわりに

豊後大野市内の全ての町で、来年度から小中一貫教育校へ移行することになる。それぞれの町が地域に即した小中一貫教育の推進を行っている。なかでも、施設一体型の校舎建築が進められている千歳町では、小中一貫教育校開校への期待が高まりつつある。その一方で、保護者・地域には、少子化がさらに進む中で、新しい学校の未来を心配する声も少なくない。今後も、あらゆる声に傾聴し、小中一貫教育の検証・改善に役立てていこうと考えている。市内の他町とも共通理解や情報共有しながら、そのうえで、地域との協働、保護者との連携を、誠意を持った柔軟な姿勢で対応を重ねて、令和6年4月の新校舎完成と同時に小中一貫教育校の開校を迎えたい。



豊後大野市の学校教育は「地域とともにあるヘプタゴン教育」を推進している。そのねらいは「主体的な自己実現」のできる子どもの育成である。その中心にある考え方が、子どもたちの夢の実現を支援していく教育活動の基本である「キャリア教育」である。小学校1年生から中学校3年生までの9年間で、自己の進路を主体的に選択できるよう教育実践を展開している。この9年間の系統的・継続的な教育の重要な手段の一つが「小中一貫教育」である。また、ヘプタゴン教育のもう一つの重要な基本方針が「地域とともにある学校づくり」である。地域にある学校が果たす役割は、子どもたちの夢の実現であり、持続可能なまちづくりの視点から地域づくりへ主体的に参画することである。この方針が揺らぐことなく、地域・家庭・学校がつながりの深い「地域とともにある学校づくり」を目指していく。